

足立区立東島根中学校  
学校長 大瀧 訓久様

足立区立東島根中学校 開かれた学校づくり協議会

## 令和7年度学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

客観的なデータに基づき、概ね適切な自己評価が行われている。本年度、数値に変動が見られた点を注視し、次年度の学校経営に繋げていただきたい。

- ・自己評価書に対する協議会委員における評価において、「地域の意見を学校改善に生かしている」との評価が昨年度の58%から86%へ大幅に向上した。学校の開かれた姿勢が地域に深く浸透しているといえる。
- ・GIGAスクール推進研究を実施し、教員の指導力向上に注力した点は高く評価できる。アンケートでも「ICTを活用した授業が好き」と回答した生徒が74.7%に達しており、生徒の学習意欲喚起に大きく寄与している。
- ・昨年度課題としてあげたボランティア活動について、年4回の花壇ボランティアに延べ130名が参加。保護者の認知度も26.2%から37.2%へ向上しており、情報発信の成果が着実に現れている。
- ・「学校生活が楽しい」とする生徒が79.0%（昨年度93.3%）、「家庭学習の習慣が身に付いている」とする生徒が55.6%（昨年度66.4%）へと減少した。今後は、家庭学習ノートの改良等にも波及させ、生徒が「わかる・できる」喜びを実感できるように期待する。また、図書館の活用法についても検討し、生徒の情報活用能力の向上を支える環境を整えていただきたい。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・自己評価書からは、「家庭学習習慣の定着」や「部活動の充実」が課題であるとされている。協議会としても、生徒の育成には学校と家庭・地域の連携が不可欠であると認識している。家庭への働きかけを一層強めたり、部活動の活性化のため、地域人材を学校に繋げたりするなど、地域全体で課題に取り組む。

### 3. その他

- ・新年度の開かれた学校づくり協議会の活動は、学校とも相談しながら地域としての連携を強化し、今後さらなる教育活動の充実が図られるよう協力をしていきたい。